



事項

「Hatch Technology NAGOYA」課題提示型支援事業に係る実証プロジェクトの決定について

内容

「Hatch Technology NAGOYA」課題提示型支援事業は、本市が提示する課題に対して、先進技術を活用した解決策を提案する企業等を募集し、その社会実証を支援する取り組みです。この度、当該事業で実施する実証プロジェクトが決定しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1 事業概要
庁内から募集した行政課題や社会課題（グリーン化及びD Xの特別枠を含む）に対して、先進技術を活用した解決策を企業等から広く募集し、選定・決定した実証プロジェクトに対する費用の一部負担や、専門家によるマネジメント等の支援を実施するもの

2 実証プロジェクト決定までの経緯

【課題募集】

行政課題 8 件

社会課題 8 件

→

【解決策提案】

全 156 件

→

【実証プロジェクト決定】

行政課題 4 件

社会課題 4 件

3 実施する実証プロジェクト ※概要は別紙参照

(1) 行政課題

課題名	実証事業者 (所在地)	市担当部署
炎天下の現場巡回にさよならー 固定資産税の農地調査 DX	エアロトヨタ株式会社 (東京都江東区)	財政局 固定資産税課
「去り行く専門家」を AI で補いたい！ 消費生活相談窓口の存続危機への挑戦	株式会社コア (東京都世田谷区)	スポーツ市民局 消費生活課
運動が好き、楽しい、と感じてほしい。 先進技術で創る新しい学校体育！	株式会社ハイパーブレイン (名古屋市中区)	教育委員会事務局 学校保健課
「駐車しにくい区役所」を変えたい！ 渋滞課題にスマート技術で挑戦	ランディット株式会社 (東京都新宿区)	名東区役所 総務課

内

容

備考

(2) 社会課題

課題名	実証事業者 (所在地)	市担当部署
水素技術の新たなユースケースを創りたい！	株式会社アイシン (愛知県刈谷市)	経済局 次世代産業振興課
名古屋発、全国の客引き問題を解決する防犯モデルを創りたい！	株式会社 HULIX (大阪府吹田市)	スポーツ市民局 地域安全推進課
地下に潜む危険をゼロにー無人点検×AI診断で下水道管調査 DX の高度化実証ー	大成建設株式会社 (東京都新宿区)	上下水道局 保全課
街路樹点検の新技术実証！全国でも多発している倒木事故を減らしたい！	古河電気工業株式会社 (東京都千代田区)	緑政土木局 緑地維持課

4 今後のスケジュール

9 月～2 月

実証に向けての調整、実証実施、結果取りまとめ

3 月

成果発表

【参考】記者クラブ向け説明会について

日 程

令和 8 年 9 月 18 日（金曜日）13 時 30 分～15 時 00 分

場 所

西庁舎 11 階 西 11B 会議室

内 容

・担当部署による課題の説明

・実証事業者による実証内容の説明

・その他の実証プロジェクトに関する説明

※説明会を行う実証プロジェクト

実証課題	名古屋発、全国の客引き問題を解決する防犯モデルを創りたい！
担当部署	スポーツ市民局地域安全推進課
実証事業者	株式会社 HULIX

本件は、9 月 1 日に市政記者クラブ及び経済記者クラブへ資料提供しました。

(経済局イノベーション推進部次世代産業振興課	内線 2418)
(総務局行政 DX 推進部デジタル改革推進課	内線 2267)
(総務局総合調整部総合調整課	内線 2215)

行政課題

炎天下の現場巡回にさよなら —
固定資産税の農地調査DX

○担当部署

財政局 固定資産税課

○解決したい課題

固定資産の評価のために撮影した1月の航空写真では、農地の耕作状況の判別ができず、夏から秋に職員が現地巡視しており、業務効率化や熱中症リスクの低減が求められている。

○実証事業者

エアロトヨタ株式会社(代表事業者)

代表取締役社長 垣迫 和行

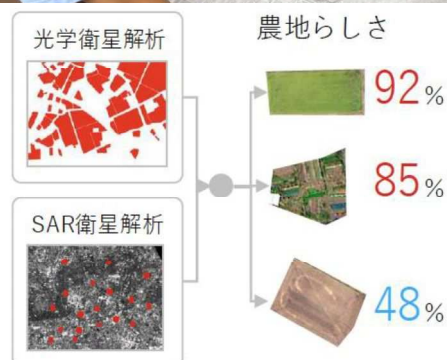
所在地: 東京都江東区

<https://www.aerotoyota.co.jp/>

一般財団法人リモート・センシング技術センター(共同提案)

○実証内容

夏季の衛星データ(SAR・光学画像)をAIで解析し、確認が必要な地点や巡回ルートを提案するシステムを構築し、都市部の小規模農地について耕作状況を評価できるか検証する。



- SARと光学衛星の解析結果を統合
- 農地筆ごとに農地らしさを判定

行政課題

「去り行く専門家」をAIで補いたい！
消費生活相談窓口の存続危機への挑戦

○担当部署

スポーツ市民局 消費生活課

○解決したい課題

消費生活相談員は高齢化が進み、大量退職期を迎えている。消費生活相談員の育成は約5年を要し、相談の複雑化・多様化により1件あたりの対応時間も増えている。

○実証事業者

株式会社コア

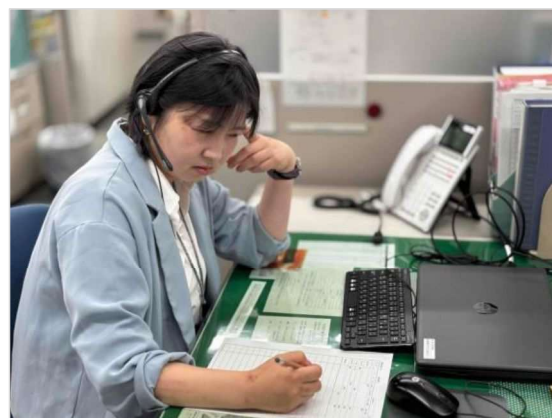
代表取締役会長 種村 良平

所在地: 東京都世田谷区

<https://www.core.co.jp/>

○実証内容

情報漏洩リスクを排除したクローズドAIと特許出願中の独自技術を活用し、通話内容に基づく助言候補のサジェストや相談記録の自動作成機能など、各種機能の精度を検証する。



3つのアシスト機能で相談窓口業務の負担を軽減

AI通話記録	AI項目 分析・登録	AI質問・助言 サジェスト
通話内容をリアルタイムにテキスト化	相談記録を自動作成	相談内容や過去の回答等に基づいた助言を生成

安心・安全を担保するクローズドAIプラットフォーム

インターネットから隔離された環境により、情報漏洩のリスクを排除し、市民と職員の安心・安全を守ります。

行政課題

運動が好き、楽しい、と感じてほしい。
先進技術で創る新しい学校体育！

○担当部署

教育委員会事務局 学校保健課

○解決したい課題

スクリーンタイムの増加等を背景に、児童・生徒の運動機会の減少と体力低下が懸念されている。映像を撮って見返すだけでは自身で改善点を見つけることが難しく、達成感も得にくい。

○実証事業者

株式会社ハイパーブレイン(代表事業者)

取締役社長 野村 広之

所在地: 名古屋市中区

<https://www.h-b.co.jp/>

ソフトバンク株式会社(共同提案)

エデュシップ株式会社(共同提案)

○実証内容

AIを活用して、骨格解析による児童・生徒の動きの可視化及び、客観的なフィードバック・再挑戦を促す声掛けを行うことで、挑戦を促す体育授業をつくることができるか検証する。



解決へのアプローチ

個人情報の完全保護(特許技術)

- 外部クラウドへの動画送信をなし
- 端末内で匿名加工された「骨格座標データ」で診断

再挑戦を促す「声かけAI」

- 体育の動きの局面(準備・主要・終末)に適した教師データを一緒に構築

- ① 動画を撮影
- ② AIが骨格を解析
- ③ 動きを可視化
- ④ 自分の動きを振り返る



「自分の動きを客観的に見る」ことで、
体育の学びを支援するAI

行政課題

「駐車しにくい区役所」を変えたい！
渋滞課題にスマート技術で挑戦

○担当部署

名東区役所 総務課

○解決したい課題

5か所に分散した駐車場に関する統一的な案内情報がなく、警備員による誘導を行ってはいるものの、正面駐車場(2か所)に来庁者が集中し、駐車待ちが頻繁に発生している。

○実証事業者

ランディット株式会社

代表取締役 藤林 謙太

所在地: 東京都新宿区

<https://landit.co.jp/>

○実証内容

AIカメラによる満空状況の把握や発信に加え、区の健診や繁忙日などの情報と掛け合わせた混雑予測により、駐車に要する待ち時間の短縮と渋滞緩和につながるか検証する。



社会課題【グリーン化】

水素技術の 新たなユースケースを創りたい！

○担当部署

経済局 次世代産業振興課

○解決したい課題

水素は脱炭素化のキーテクノロジーとして幅広い分野での活用が期待され、大規模な需要創出に向けた取り組みが進められている一方、都市部における需要は限定的である。

○実証事業者

株式会社アイシン

取締役社長 吉田 守孝

所在地：愛知県刈谷市

<https://www.aisin.com/jp/>

○実証内容

水素吸蔵合金から水素を取り出す際に必要な熱源に、FC（燃料電池）発電機の排熱を利用したシステムの開発により、外部電源に依存せず「どこでも」「手軽に」水素を利用できるか検証する。



社会課題【DX】

名古屋発、全国の客引き問題を 解決する防犯モデルを創りたい！

○担当部署

スポーツ市民局 地域安全推進課

○解決したい課題

条例に基づき指導員が繁華街を巡回しているが、客引き行為者に指導員の位置情報をSNS等で共有され、巡回ルート在先読みされる状況が発生するなど、抑止力が低下している。

○実証事業者

株式会社HULIX

代表取締役 守屋 充雄

所在地：大阪府吹田市

<https://www.hulix-tech.com/>

○実証内容

AIカメラによる客引き行為の識別・音声警告に加え、指導実績やカメラの検知結果等から最適な確認経路を指導員に提示するシステムにより、効果的な介入を実現できるか検証する。



社会課題【DX】

地下に潜む危険をゼロに 一無人点検×AI診断で 下水道管調査DXの高度化実証一

○担当部署

上下水道局 保全課

○解決したい課題

中大口径の下水道管調査は、危険な環境下における作業となることから、安全性の確保が課題である。また、人材不足が深刻化する中、撮影した映像の診断に多くの時間を要することから、診断作業の効率化が課題である。

○実証事業者

大成建設株式会社

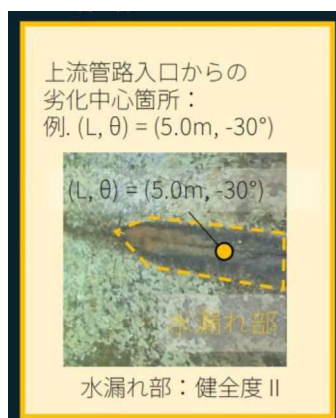
代表取締役社長 相川 善郎

所在地：東京都新宿区

<https://www.taisei.co.jp/>

○実証内容

ドローンが管内の中心を進むことをアシストするソフトウェアの開発を行い、人が管内に入らず撮影可能か、また、撮影した画像をAIにより診断することで、診断作業の効率化に繋がるかを検証する。



社会課題

街路樹点検の新技术実証！ 全国でも多発している倒木事故を減らしたい！

○担当部署

緑政土木局 緑地維持課

○解決したい課題

9万本の街路樹に対し、月1回の巡視と年1回の点検を人手で行っているが、コストと時間の両面で業務負担が大きく、また、判定のばらつきや見逃しのリスクも存在する。

○実証事業者

古河電気工業株式会社

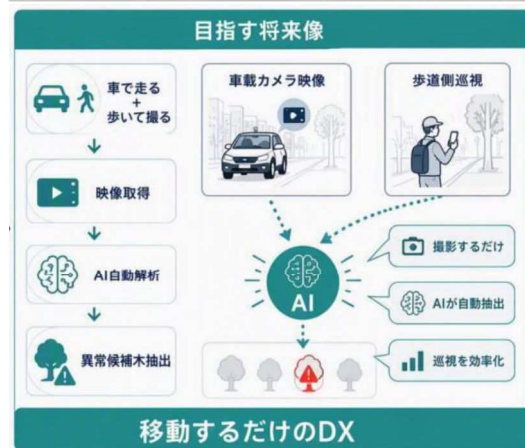
代表取締役社長 森平 英也

所在地：東京都千代田区

<https://www.furukawaelectric.com/>

○実証内容

樹木医の知見を学習させたAIにより、車載カメラ等による映像から、異常の兆候がある樹木をスクリーニングするシステムにより、点検効率化と倒木被害への有効性を検証する。



事項	住民監査請求の結果について（勧告）
内容	令和8年7月9日に提出されました「星が丘図書館（仮称）等の共同建設事業に係る住民監査請求」について、地方自治法第242条第5項の規定に基づき監査を実施し、同年9月7日に請求人あてに監査結果を通知しましたので、下記のとおり監査結果の概要をお知らせします。 記 1 請求の主旨 本市が東山遊園株式会社（以下「東山遊園」という。）との間で取り交わした「星が丘図書館（仮称）・星が丘ボウル跡地プロジェクト 1期 A工区北商業棟（仮称）の共同建設事業に関する基本協定書」に基づいて、本市が債務を負担する行為は違法であり、今後予定される負担金支出の差止及び支払済の負担金に係る損害を回復するために必要な措置を講ずること等を求める。 2 監査の結果 本件負担金は、実質的には不動産取得の対価としての性質を有すると判断されるものであり、議決条例の「不動産の買入れ」に該当し、議会の議決を経る必要があったと解されることから、請求人の主張には一部理由があるものと認める。 3 勧告 負担金支出に関して、議会の議決を経ていないことは、議決条例第3条に違反することから、市長は必要な措置を遅くとも令和8年度末までに講じられたい。 4 監査委員の意見 請求人の主張のうち、蔵書数に関しては、星が丘図書館（仮称）がアクティブライブラリーとしての機能を果たす上で、重要な要素の一つであると考えられるが、蔵書数についての最終案は市民及び議会に対して未だ示されていない。 星が丘図書館（仮称）についての電子書籍を含めた蔵書数の考え方など図書館としての具体的な内容について適切な時期において示されるべきであったと考えられる。 教育委員会においては、蔵書数の考え方をはじめ、本事業について市民及び議会に対し丁寧に説明を行われたい。 ※イントラネットの監査事務局のページに監査結果を掲載しています。 http://js-intra-s.wsus.intra.city.nagoya.lg.jp/kansa/?p=49